

斬新なアートを公開で審査

前橋アートコンペライブ2007を12月2日、国際交流広場で開催しました。全国から集まった新鋭芸術作品のうち、1次審査を通過した24作品について公開で審査するもの。作者と審査員が楽しいやり取りを繰り広げ、観客も大いに盛り上がっていました。



マイバス西循環が発車

東公民館で11月29日、マイバス西循環の出発式を開催。この路線は、JR新前橋駅を発着点に東地区の主要な施設などを巡ります。式典に続く試乗会では、地元の自治会長らがコースを確認。地域の足として期待を膨らませていました。



身近な話題を織り交ぜて

11月27日、農政講演会をJA前橋市本所で行いました。気象予報士や保健学博士として活躍している河合薫さんが「カラダと環境のつながり」をテーマに講演。集まった聴衆は熱心に耳を傾けていました。



体力に合わせて楽しく歩く

ウォーキングジャンボリーが11月23日大島公園を発着点に行いました。県内外から約600人が参加し、自分の体力に合わせて10キロ、20キロ、30キロの3コースに分かれてスタート。完歩した人には、完歩証と前橋の水がプレゼントされました。



光を失っても常に夢を追い続ける



社交ダンス1級に合格
沢田 馨さん・50歳
城東町四丁目

小学3年の時に難病のパーチエツト病に侵され、中学2年で光を失った。全盲だが、先月行われた社交ダンス1級の検定試験に、見事トップの成績で合格した。
「とても不安でしたが、合格できてうれしい。本当に良かったです」
社交ダンス界最高峰の全英選手権で優勝経験を持つ小河原正光さんと知り合い、指導を受けたことで、自由に踊ることの魅力に取り付かれた。
「検定試験は、パートナーと手をつないだまま踊るスタンダードと、離れて回転するラテンの各4種目ずつ、曲に乗って踊るんです」
日々の練習を積み重ね、昨年12月には3級に、今年5月に2級を取得。着実に技術を磨いた。
「目が不自由なので、一人で回転

した後に方向が分からなくなる不安があるんです。だから、体に覚えさせるため、週3回のレッスンのほか、自宅での練習も欠かしません。何度も壁などにぶつかっていたので、青あざをいっぱい作ってしまいました」
ペアを組むときは、パートナーが手の握りを強くしたり弱くしたりして合図を送り、ステップのタイミングを図る。感覚の鋭さは人並み以上だ。
「今はダンスに夢中。だから毎日楽しく、生きがいを感じています。もっともつと練習して、一つ一つ上のクラスを目指したいんです」
ほかに歌うことも好きで、夢は歌とダンスのライブに出演すること。いつまでも挑戦する気持ちと夢を持ち続けて、輝いてほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選

『お姉ちゃん』という気持ち

荒牧小4年
清水 綾乃さん

★入選

命

大胡東小5年
茂木 友加里さん

私の妹は元気で私は妹のことが大好きだ。
でもすぐ「かつ」となってケンカが始まる。
ある夏の日曜日、妹がとつぜん泣いた。
私が「どうしたの」と聞くと妹はまた泣いた。
私は妹のそばに行き、なぐさめるとお父さんがやってきて「すい。」
と言ってくれた。
私は「すごい」と言う一言で初めて『お姉ちゃん』という気持ちが分かったような気がした。
こんな気持ち初めてだ。
私はそうと心の中で「…ありがとう…」とお父さんに言った。

小さなカエルがつぶされて死んでいた
どこかの子どもが死んだのだろう
ていこうで死んで死んで
とてもかわいそうなカエル
それを見て 鼻で笑った人もいた
人げんが死んでいられるのでは
カエルが死んでいられるのでは
人のたいどはちがう
あたりまえのことだとみんないうが
わたしには、
不思議でたまらない
どちらにしろ命が一つ消えること
なのに